

魅力だより

◆最上教育事務所「魅力ある学校づくり調査研究事業」通信第13号
◆令和3年1月28日（木）
◆最上教育事務所 指導課

「魅力ある学校づくり調査研究事業」に係る「各学校の実践紹介 # 8」

金山町立金山中学校の実践



【目標】 「エ 授業がよくわかる」の項目について、「当てはまる」の割合を全学年向上させる。

【ねらい】 研究主題である「対話と協同の授業づくり」を目指し、豊かなかかわりを土台に確かな学力をつける授業づくりを続けていく。学校全体でそれぞれ+10パーセントを目指し、協同の学びによる授業づくりを工夫していく。

活動1 プレスタディ・タイム

【内容】

- 1 終わりの会終了後に「プレスタタイム」を10分設定し、帰宅後の家庭学習の見通しを持つ時間として活用する。
- 2 学年担任団が一人10～11人の生徒を担当して支援する。（「学びのグループ担当」制）

授業と家庭学習をつなぐ「居場所づくり」の実践

活動2 スタンバイ学習

【内容】

授業開始3分前に「スタンバイ学習」として、前時の復習や今日の授業の予習、小テスト等の時間として有効に活用し、基礎的な内容の定着に努める。

本時へのスムーズな学びを促す「居場所づくり」の実践

活動3 「対話」と「協同」の学び

【内容】

- 1 「対話」と「協同」の学習スタイルを活用し、お互いの意見を融合しながら、さらに「新しい考えを導き出せる集団づくり」に努める。
- 2 生徒同士がお互いの思いを伝え合い、聴き合い、認め合う「対話的コミュニケーション」が図りやすい空間をつくり、課題を解決できるようにする。



生徒指導の三つの機能を授業で生かす「絆づくり」の実践

👉 金山中の実践から学ぶ 👈

授業を核に一人ひとりの学びを保障した不登校の未然防止の取組